

《プレスリリース》

2026年7月1日  
株式会社時事通信社

## 行政向けニュースサービス「iJAMP」データ活用オプション「iJAMP RAG」をリリース ～シフトプラスと業務提携、7月よりトライアル提供開始～

株式会社時事通信社（東京都中央区、代表取締役社長：境克彦、以下「時事通信」）は、シフトプラス株式会社（以下「シフトプラス」）が提供する行政向け生成 AI プラットフォーム「自治体 AI zevo（ゼヴォ）」において、行政向けニュースサービス「iJAMP」が保有するニュースデータを活用した RAG（Retrieval-Augmented Generation）機能オプション「iJAMP RAG（アイジャンプラグ）」をリリースし、2026年7月よりトライアル提供を開始します。

### ■ 業務提携について

あわせて、同機能の提供に向け、両社は業務提携契約を締結しました。本提携により、「自治体 AI zevo」において「iJAMP」のニュースデータを活用した RAG 機能の提供を進め、自治体業務の効率化と高度化を支援します。両社はそれぞれの強みを生かし、行政分野における生成 AI 活用の価値向上と新たな情報提供モデルの構築に取り組みます。

本オプションでは、「iJAMP」に蓄積されたニュースデータ「官庁速報」を参照情報として活用し、生成 AI による行政文書の初稿作成を高度化します。政策背景や自治体事例を踏まえた実務に即した回答生成とナレッジ活用により、自治体職員の業務効率化と意思決定支援に寄与します。

なお、本オプションの開発にあたっては、宮崎県都城市の協力のもと、2025年4月より PoC（概念実証）を実施し、行政業務における RAG 活用の有効性について検証を行いました。本検証では、「官庁速報」データを活用した文書生成や情報整理において、業務効率化や回答精度の向上といった効果が確認されています。

### ■ 背景・目的

近年、生成 AI の行政業務への活用が進む一方で、以下のような課題が顕在化しています。

- 汎用生成 AI のみでは業務固有の情報への対応が不十分
- 庁内ナレッジが分散し、有効活用が難しい
- 情報の収集・整理・比較に時間を要する

「iJAMP RAG」では、多様な生成 AI モデルを対応した「自治体 AI zevo」上での、プロンプトテンプレートの共有や自治体ナレッジの蓄積・再利用を前提とした設計に加え、

「iJAMP 官庁速報」のニュースデータを組み合わせることで、制度動向や先進事例を踏まえた実務レベルのアウトプット生成を実現します。あわせて、参照データに基づく回答生成によりハルシネーション（誤情報生成）を抑制し、情報収集・整理・比較にかかる時間を大幅に短縮します。

## ■ サービス概要

本サービスでは、「自治体 AI zevo」において、「iJAMP 官庁速報」に蓄積されたニュースデータを参照しながら、企画書やレポートなどの行政文書やインフォグラフィックの生成を行うことが可能です。

iJAMP データは RAG 用途に適した形で連携・最適化され、生成 AI は関連記事の検索・参照を行いながら、内容に即した文書や回答を生成します。これにより、

- 政策テーマに応じた情報の検索・収集・整理の効率化
- 制度動向や自治体事例を踏まえた文書作成の高度化

といった効果が期待されます。

## ■ 主な活用用途

- 企画書・事業提案書の作成
- 議会答弁書案の作成
- 政策検討における論点整理（実装予定）
- 首長・副首長への説明資料作成（実装予定）

## ■ 会社概要

株式会社時事通信社

所在地：東京都中央区銀座 5 丁目 15 番 8 号

代表者：代表取締役社長 境 克彦

URL：<https://www.jiji.com/>

シフトプラス株式会社

本店所在地：宮崎県都城市宮丸町 3070 番地 1

代表者：代表取締役社長 中尾 裕也

事業内容：Web システムの提案・設計・構築・保守／自治体向け業務委託サービス

URL：<https://www.shiftplus.co.jp>

## 【本件に関するお問い合わせ先】

時事通信社 社長室経営企画部・業務局

<https://www.jiji.co.jp/contact>